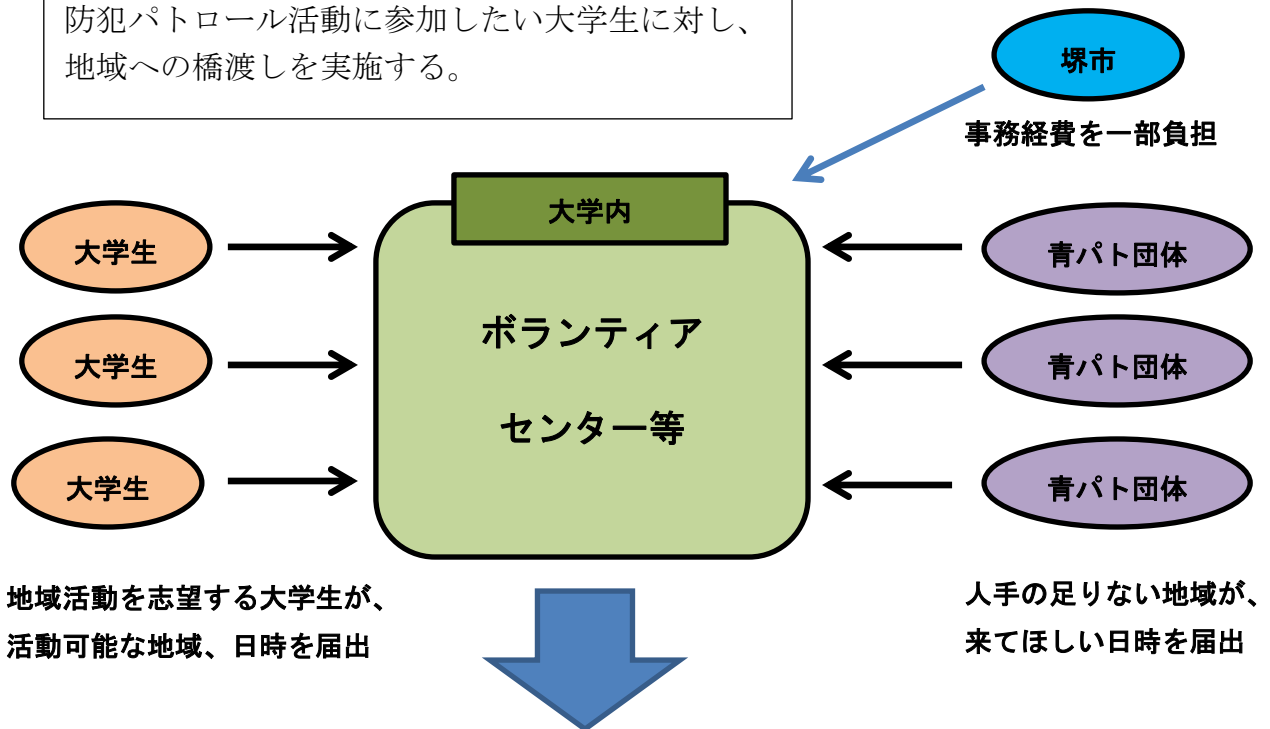


青色防犯パトロール担い手創生事業

大学との連携の取り組みの一環として、防犯パトロール活動に参加したい大学生に対し、地域への橋渡しを実施する。



希望が一致すれば、双方へ連絡し、パトロール活動を実施してもらう。
(多くのマッチングが実現するよう、双方と調整を行う。)

青パト団体のメリット：人員不足の解消、若者の自治会活動参加への誘因となる。
大学生のメリット：自由な時間に地域活動に参加できる。就活でのアピールポイントになる。

【実施の詳細】

堺市と大学ボランティアセンター等との協働事業とし、市は防犯情報や青パト団体情報などの提供及び事務経費の一部を支出する。

堺市夜間自転車パトロール活動推進事業

事業目的

道路や公園等の公的空間における、『安全安心』を高めるため、市民による夜間パトロール活動を促進し、地域の防犯力を高める。

事業手法

- コミュニティサイクルのサイクルポートに、電飾等による飾りつけを行った「パトロール用自転車」を配備し、19時～21時の間、希望者に貸し出す。
- 利用者はパトロールしながら帰宅し、翌朝返却する。（帰宅時間を利用した地域貢献活動）
- 利用者には、パトロール実施にあたり、講習会を受講してもらう。（登録制）
- 利用者アンケートを行い、地域防犯情報として活用する。

予算要求額

107万円（自転車、装飾品、ヘルメット、修繕料、保険料等）

一戸一灯運動啓発事業

地域で推進する「一戸一灯運動」を支援するため、チラシの作成・配布等を実施する。

※「一戸一灯運動」：各家庭や事業所で、門灯や玄関灯を点灯して屋外を明るくし、街頭での犯罪や侵入盗、不審者による犯罪を防ごうという運動。

予算要求額：3,986千円

大学との連携による若年層への啓発等事業 (若年層への啓発事業)

○事業目的 (予算要求額 1,800千円)

大阪府警では「子どもや女性を狙った性犯罪」を「大阪重点犯罪」のひとつに指定し、犯罪抑止総合対策を進めている。本市においても、女性や子どもにとって安全・安心なまちをめざすため、特に若年層に向けた性犯罪防止の啓発を推進し、更なる取組の周知及び男女共同参画に関する市民の理解を深めることをめざす。

○事業実施方法

◆大学との連携による実行委員会での事業運営

研究機関である大学と連携することにより、専門的な観点からの事業運営を実施する。

。

大学も事業の実施主体となり、官学連携により、効率的な事業運営をめざす。

○事業内容

若年層への啓発事業

◆事業趣旨

堺セーフシティ・プログラムの「プログラムデザイン・レポート」では、取り組むべき4つの指針の1つに、「性暴力の被害者にも加害者にもならない当事者意識の啓発」が示されている。性暴力への関心の低さや知識の乏しさが性暴力を見えにくくし、性暴力を発生させてしまう原因のひとつでもあることをふまえ、性暴力の加害者にならないための男性への啓発、および被害者にならないための女性への啓発を実施する。

◆事業内容

・＜性暴力の加害者にならないための男性への啓発＞

男子大学生に啓発を目的とした講座を開催し、そこで学習した大学生が男子高校生を対象に啓発を目的としたワークショップを開催する。

・＜性暴力の被害者にならないための女性への啓発＞

男子大学生同様に、女子大学生に啓発を目的とした講座を開催し、そこで学習した大学生が女子高校生を対象に啓発を目的としたワークショップを開催する。